

2021年6月22日

二酸化炭素地中貯留技術研究組合

「二酸化炭素地中貯留技術研究組合への新規組合員の加入」について

二酸化炭素地中貯留技術研究組合は2016年に設立されました。地球温暖化対策上の重要な技術である、CCS (Carbon dioxide Capture and Storage)の実用化を目指して、我が国の貯留層に適した実用化規模(100万トン/年)でのCO₂地中貯留技術の開発や、CCSの社会受容性の獲得を志向した研究開発を行っております。この度、伊藤忠商事株式会社および伊藤忠石油開発株式会社が新たに組合員として加入しました。安全かつ大規模・効率的なCO₂地中貯留技術の実現に向け、一層研究開発を加速して参ります。

二酸化炭素地中貯留技術研究組合の概要

(1) 実用化に向けた取り組みの概要

- ・ 大規模CO₂圧入・貯留の安全管理技術の確立
- ・ 大規模貯留層の有効圧入・利用技術の確立
- ・ CCS普及条件の整備、基準の整備

(2) 所在地： 京都府木津川市木津川台9丁目2番地

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構内

(3) 理事長： 平松 晋一 (応用地質株式会社 顧問)

組合員： 伊藤忠商事株式会社*、伊藤忠石油開発株式会社*、応用地質株式会社、株式会社INPEX、石油資源開発株式会社、大成建設株式会社、電源開発株式会社、JX石油開発株式会社、国立研究開発法人 産業技術総合研究所、公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

(8企業、1国立研究開発法人、1公益財団法人、*：新規加入組合員)

以上

お問い合わせ先

二酸化炭素地中貯留技術研究組合 総務部 野村 眞、高須 伸夫、中西公美子

電話：050-3757-2989